

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 30 年 3 月 27 日改正
(平成 30 年 4 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：岐阜県立幸報苑	種別：障害者支援施設
代表者氏名：坂井 百合江	定員（利用人数）：施設入所 50 名 生活介護 50 名
所在地：岐阜県山県市大桑 3 6 0 6	
TEL：0 5 8 1－2 7－3 5 0 8	ホームページ： https://www.gifu-fukushi.jp/kohoen/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和 5 8 年 4 月 1 日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 岐阜県福祉事業団	
職員数	常勤職員： 2 0 名 非常勤職員 9 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	施設長 1 名
	次長 1 名
	サービス管理責任者 1 名
	事務員 1 名 事務員 1 名
	看護師 1 名
	栄養士 1 名
	生活支援員 1 2 名 生活支援員 8 名
	相談員 2 名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
	4 人部屋 1 1 3 人部屋 2 個室 1 食堂 作業室 集会室 面談室 浴室 トイレ 休憩室 ワーカー 室 事務室 会議室 浴室

③理念・基本方針（※転載）

施設理念

一人ひとりが豊かな生活ができるよう、生きる力を応援します。

経営基本方針

- 1 「ノーマライゼーション」を基本理念とし、利用者一人ひとりが豊かな生活を送ることができるよう利用者の権利を尊重し支援します。

- 2 重度の障がいのため一般企業等で働くことが困難な利用者に生活と作業活動の場を提供し、社会の一員としての認識を持って、自立した生活ができるよう支援します。
- 3 安心と安全に生活できることはもちろん、教養と娯楽のある豊かで生きがいのある生活を送ることができるよう利用者のニーズにあった自立支援を行い、地域での生活に移行できるように支援します。
- 4 地域と交流し、連携を深めた地域福祉を積極的に推進し、地域に開かれた障害者の拠点施設を目指します。
- 5 カスタマーサービスによる利用者満足度を向上させるとともに岐阜県福祉サービス第三者評価機関及び地域の第三者を主体とした幸報苑経営委員会の意見提言を尊重し、健全な施設経営に努めます。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・生活リハビリテーションとして、毎月、理学療法士、作業療法士による指導を受け、週4回、機能訓練を実施している。
- ・虐待防止委員会を中心に、自己・他者チェックを実施し、チェック結果を会議で報告する等して、人権に対する意識を高めている。
- ・作業中心の日中活動から利用者の希望や意向を尊重し、またコミュニケーションを重視した日中活動の支援としている。また、作業量はカウンターによる的確な把握を行っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 30 年 月 日（契約日） ～ 平成 31 年 3 月 27 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	2 回（平成 26 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

<詳細な事業計画が策定されている。>

詳細な事業計画が策定されている。中・長期ビジョンが明示されており、今後の事業方針を明確化しており、持続的な安定経営を目指す内容になっている。また、事業経営分析を実施し、経営体質の強化に向けた取り組みを行っている。

<各種規程・マニュアル類、様式集が整備されている。>

各種規程集・マニュアル類、様式集について、しっかりと整備されており、ICT化も推進している。

<利用者の希望や意向を尊重した外出支援を実施している。>

外出支援については、臨機応変に職員を配置し、できる限り利用者の希望に添って実施して

いる。今年度より、「居酒屋外出」として、夜の時間帯に繁華街への外出を始め、利用者からも好評を得ているとのことである。

<利用者の思いや希望を丁寧に聞く機会を設けている。>

職員による「なんでも相談」、第三者である「利用者の豊かな生活をめざす委員会」委員「ゆうあい相談」を毎月開催するとともに、苑長と看護師による「懇談会」を実施し、利用者の思いや意見の傾聴に努めている。

◇改善を求められる点

<最大限のハード面の対策に向けた取り組みに期待したい。>

利用者の居室は4人部屋であり、一人あたりのスペースが少ない。高齢化に伴う重度化が進行し、車いす利用者も増加している中で、車いす使用の場合身動きが制限される状況にある。仕切りのカーテンは暗く感じた。カーテンを明るい基調の物に変更または移動式の衝立にする等、快適性を高めた居室環境作りに向けた取り組みに期待する。また、トイレは清潔は保たれているが、旧式でシャワートイレの設置数が少ないので、増設が望まれる。

<よりアメニティを高めた食事の提供に向けた取り組みに期待したい。>

熱い食事は熱く、冷たい食事は冷たく、より適時適温での提供に向けた取り組みに期待したい。また、たとえば静かな音楽を流す等、食事の時間としてのゆとりある雰囲気づくりも演出できれば、より食事が楽しみなものになるのではと考える。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、ケアサービスのあり方や施設経営全般について見直す良い機会となりました。評価では、良い点や改善すべき点などにつきましてご指摘をいただきありがとうございました。今後、改善すべきと指摘された点については、継続的に改善に向けた取り組みを行うとともに、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、今後、高齢化に伴う重度化・重複化に伴う身体機能の低下等、多様化する利用者ニーズに対応した支援の充実に努めていきたいと考えています。また、地域に開かれた施設として、さらに地域交流・貢献への取り組みを職員全体で考えながら進めていきたいと考えています。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。